



グリーンテクノロジー社会実装事業

平成28年度要求額
400百万円（新規）

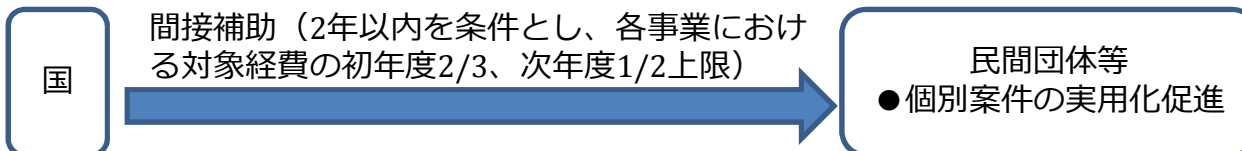
背景・目的

- エネルギー起源CO2排出削減と併せた循環共生型社会の実現に係わる環境研究・技術開発においては、研究成果の社会への実装を産学民官、国と地方との連携で進めることが重要である。
- 革新的な環境技術を地域レベルで実用化し、既存技術シーズの社会実装を促進させることが有効である。
- 本事業は、優れた環境技術（既存技術シーズ）の実用化及び円滑な普及のために課題となっているプロトタイプ（実用化モデル）の製作等、及び販路開拓等を支援するものである。

事業概要

地域企業及び地方自治体（公設試験研究機関等）が保有している実用化水準の技術シーズを活かした循環共生型社会に資する製品、又はその製造やサービスの提供に用いる装置のプロトタイプ製作及び販路開拓等に係る経費を補助する。

事業スキーム



※事業実施年度：平成28年度～平成30年度、最終年度は継続事業のみ実施

期待される効果

- 地域の特性を活かした環境技術の社会実装促進により、CO2排出削減とともに自然共生社会・安全が確保される社会の実現等に貢献する。
- 研究開発成果の社会実装に伴う環境関連産業形成により、地域活性化、環境と経済の両面で持続可能な社会の構築に貢献する。

事業対象は、①実用化水準の技術シーズを保有し、②事業主体が地域企業及び地方自治体（公設試験研究機関含む）等で、③製品の確立（プロトタイプ製作等）がボトルネックとなっている案件。

イメージ

